

## 神奈川県作業療法士会ニュース167号 目次

- |                              |                                     |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1 巻頭言                        | 7 「今こそ学びたい 作業療法士のための物理療法の基礎」を終えて    |
| 2 いよいよ、来月                    | 8 各部からの報告                           |
| 3 「原点」を学び、新しい作業療法への挑戦        | 10 研修会案内                            |
| 4 JAOT企画のご案内とボランティア募集のお知らせ!! | 11 求人広告                             |
| 6 神奈川県リハビリテーション地域リーダー研修会2013 | 12 平成26年度 研究助成事業 研究課題募集のお知らせ / 編集後記 |

## 巻頭言

### 新年度を迎えて

一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長 渡邊慎一



平成26年（2014年）度がスタートしました。今年度は一般社団法人神奈川県作業療法士会が発足して5年目の節目になる年です。「代議員制」により県内各地域の代表者が県士会活動に積極的に参画できる仕組みもできました。また本年6月に横浜市で開催される第16回世界作業療法士連盟大会（併第48回日本作業療法学会）に向けて、当会役員及び会員が主体となり急ピッチで準備を進めているところです。この機会に、全世界の作業療法士との交流を深めるとともに、本会の組織力並びに結束力が向上することを期待致します。

さて、4月から消費税が8%になり、増収分の使い道である社会保障関連法の改定作業が進んでいます。社会保障制度の見直しの手順をまとめたプログラム法の中身を実行に移す法案の第1弾として、医療提供体制と介護保険制度を一体的に見直す「地域医療・介護確保法案」が衆議院で審議中（4月上旬現在）です。メディアでよく取り上げられていますが、この法案の正式名称は、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案」。文字面をたどるだけで、我々作業療法士にも身近な言葉となった医療・介護

の連携および地域包括ケアの推進が見て取れます。内容は、在宅医療の推進から介護保険での新たな地域支援事業の創設など医療・介護・保健などの異なる分野が網羅され、医療法（施行は2014年10月以降）、介護保険法（2015年4月以降）などを一括改正するものです。医療法関係では、都道府県の医療に関する権限を強化して病床数・機能をコントロールする、介護保険関係では、地域包括支援システムの構築のために地域支援事業の充実、予防給付（訪問介護・通所介護）を地域支援事業に移行し多様化するなどが盛り込まれています。これを見据えて今回（H26年4月）の診療報酬改定でも「病床機能の再編」が図られるとともに、在宅復帰率、日常生活活動の改善の程度などの結果（アウトカム）、チーム医療が評価されています。一方、地域包括ケアでは地域での支えあいの基本を自助・共助において一層の自立支援が必要とされています。このなかで医療・介護・保健における作業療法士の役割は一層重要なものになります。当会においても会員のみならず、より一層の社会貢献が図れるように事業を進めていきます。

## いよいよ、来月

第16回 世界作業療法士連盟大会  
第48回 日本作業療法学会  
大会長 中村 春基



神奈川県作業療法士会の皆様には、心から感謝申し上げます。

当日の大会運営は勿論として、施設見学、JAOT企画展示の立案・調整・展示業者の募集、学生ボランティアやコングレスパーティーのマネジメント等々大会運営のほとんどでお世話になっております。皆様のご尽力が実を結びますよう、大会役員ともども頑張っ

て参りたいと思います。さて、今年に入り私の仕事は、WFOT大会・JAOT業務がほとんどを占めています。5日、11日、4日、これは私の1月～3月の職場への勤務日数ですが、職場の仕事は、理学療法士の次長にまかせきりで、最近

は院長からも「久しぶり」「今日は出勤」が朝の挨拶になってしまいました。実行委員等大会に携わっていただいている方も、大なり小なり同じような状態だと思

います。はなく、出向いてご依頼することの大切さを再認識しました。今後の協会活動の財産になったと思

います。4月21日には、基調講演をお願いしています、大江健三郎先生から、講演に先立ち作業療法についての書籍を紹介してほしいとのご依頼で成城学園前のご自宅を訪問致しました。ご子息「光さん」誕生からの生活、文学への思い、平和、集团的自衛権、脱原発、東日本の復興等々、多岐にわたるお話をお伺いし、当日の基調講演がとっても楽しみとなりました。なお、最近「大江健三郎 作家自身を語る」が新潮文庫から出版されましたので、是非、ご一読いただき、基調講演を聞かれますとさらに楽しみが増すと思

います。4月14日時点での事前登録者は約4,500人、目標の5,500人の参加者は確実と思

います。海外からも約1,500名が参加されます。日本から多くの会員が参加され、海外の作業療法を見て、聞いて、感じていただけたら幸いです。開催まで30日余、健康に留意しながら、もう少し頑張りま

# 「原点」を学び、新しい作業療法への挑戦

横浜リハビリテーション専門学校  
第15回神奈川県作業療法学会 実行委員長  
机 里恵



2014年度を迎えられ、神奈川県作業療法士会の会員の皆さまにおかれましては毎日お忙しい日々かと思えます。第15回神奈川県作業療法学会の準備も着々と進み始め、県士会ホームページに学会ページがアップされました。「いよいよだなあ」と改めて実感しております。

日本の作業療法士（以下OT）が国家資格をもつリハビリテーション専門職として誕生してから49年となりました。現在、神奈川県は会員数も1870名となり、たくさんのOTが活躍し、保健・医療のみならず福祉・地域でのOT需要も増加し、ますます期待される専門職となりました。期待され忙しくなる一方でどこか基本的なことを忘れがちになっているのではないかと感じることもあります。私事ですが先日、学生時代に読んだ教科書を読み返すことがあり、改めて作業療法の根本的な考え方は、世間のニーズが様々変化しても変わらないことを確認することがありました。障がいがあっても人間らしく生きること、目標は本人の視点で考えることの重要性を改めて学びました。皆さまも忙しい日々だからこそ「原点」をもう一度確認し、新たな挑戦への原動力を見つけていただきたいと思います。そこで今回の学会は「原点回帰」～作業療法の面白さを知ろう・伝えよう～をテーマとして、作業療法の今までの歩みを確認し、そこから新しい作業療法の挑戦をしていきたいと考えました。この学会ではたくさんの議論と交流を深めていただくために、まず各分野

による演題発表や特別講演として歴代OTの先生方をおよびしてのシンポジウム。2つ目に作業療法をたくさんの方に知っていただくために、市民公開講座や地域作業所の出展。3つ目は自具・治療訓練機器のコンテストを現場のOTのみならずOT学生からの新しい視点のアイディア募集など、様々な幅の広い企画を考えております。そして学会シンボルキャラクター「花咲く芽が出るKANAGAWA」も考えていただきました。やりたいことは沢山あり、これだけではまだまだ「原点」が見えきれていないというご意見もあるかと思えます。内容はまだまだ企画の段階ですので、ぜひ皆さまの「やってみたい」のご意見をいただければと思います。県士会ホームページにアクセスしていただき、県学会のページからぜひご意見をください。また学会当日の運営スタッフも各部よりお願いをさせていただきます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

皆さまのお力をお借りして、この学会をより深いものに作り上げ、明日への新しいチャレンジ「花咲く芽が出る神奈川OT」へとしていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。



第15回神奈川県作業療法学会  
キャラクターです。

## WFOT開催まであと1ヵ月！ JAOT企画のご案内とボランティア募集のお知らせ！！

地元神奈川で開催されるWFOT（第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会）も、残すところあと一ヵ月となりました。「なんか実感がわかないなあ」「地元でほんとにやるの？」「人来るの？」といった素朴なご意見も拝聴することありますが、ほんとに開催しますよー（^^）

なんと！4月初旬での大会登録者数は4000名弱となり、海外の方は1000名を超えるご来場予定となっています。4月で登録したOTの人数でこの数ですから、まだまだふえそうですね！そして展示ホールではスポンサー企業さんが多数のブースをご準備下さいますので、本当に多くの方々が一堂に会える機会となりそうです。

さて、この大会を盛り上げるべく、展示ホール内

にて開催する「JAOT企画」というものが立ち上がりました！日本作業療法士協会が多くのブースを購入し、日本のホスピタリティを表現する企画を準備中です。そしてこの企画は「開催地の会員協力を」と依頼を受け、神奈川を中心とした企画長さんを中心に、現在急ピッチで準備をすすめているところです！

ここでは企画の紹介と、それに関わるボランティア・募金を募集についてご案内致します。（^^）是非神奈川の皆さんの力をお借りして盛り上げていきたいと思っております！ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

次ページに、各企画の紹介と募集内容を合わせてご紹介致します。

### OTボランティア・物品協力 応募方法

下記メールアドレスに必要事項を入力の上ご連絡下さいませ。

①ご氏名 ②所属 ③連絡可能な電話番号

④ご協力いただけるボランティア内容（例）折り紙100枚募金可能です！／文化交流ボラ希望 等

⑤（ブース対応ボラの場合）参加可能な日時（例）〇〇日 AMのみOK／PMからOK／全日可 等

申込アドレス [wfot2014.kikaku@outlook.com](mailto:wfot2014.kikaku@outlook.com)

お申し込み後、担当者よりご連絡させていただきます。

### 企画委員会は、神奈川メンバーを中心に活動しています！

企画委員会 委員長 酒井由香里

副委員長（各企画責任者） 高橋香代子・田中秀和・鈴木瞳・佐藤隼・沼田一恵・山田絵美・

錠内広之・三神敬弘

委員 佐藤良枝・野々垣睦美・小峰一宏・水野友和・久保田友佳・山岡丈士

企画名・企画内容	募集内容
①暮らし展示企画（会期全日開催）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外のOTに対して日本の住環境での福祉に関わる技術・工夫を紹介します。</li> <li>・一般来場者に対して障害を持ちながらも「その人らしさ」を大切に生活を支える「作業療法」の啓発を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース対応ボランティア 16枠募集 4日間（8枠）×2名</li> </ul>
②写真展（会期全日開催・コンテストあり！）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業を通したOTの魅力について、写真を通して紹介します。</li> <li>・写真も公募中です！（5月16日締め切り）ふるってご参加ください！</li> </ul> <p>*応募は大会HPご参照下さい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース対応ボランティア 8枠募集 4日間（8枠）×各1名</li> </ul>
③文化交流（会期全日開催・一部時間制限あり）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物の着付け体験：これは着付け業者さんが有料(500円)で行います。</li> <li>・呈茶:OTのボランティアさんにご協力頂き、有料(100円)で提供します。</li> <li>・書道体験:海外の方に名前や漢字(見本あり)を体験して頂く企画です。</li> <li>・折り紙・囲碁・将棋・けん玉：海外の方に日本の遊びを体験して頂く企画です。</li> <li>・和風しおり作成：さくらほりきり様より全面協賛頂き、無料で作成する企画です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース対応ボランティア(浴衣持参) 8枠募集 6月18日・20日（4枠）×2名</li> <li>・呈茶の準備ボランティア(浴衣持参) 16枠募集 (2.5時間*単位)4日間×2名</li> <li>・物品募集(おりがみ・書道半紙・墨汁(新品に限ります)・和紙)</li> </ul>
④障害者スポーツ（会期全日開催・一部時間制限あり）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ体験（フライングディスクなど）</li> <li>・障害者スポーツに関わるパネル展示・車椅子の試乗など</li> </ul>	
⑤OT活動紹介（会期全日開催・一部時間制限あり）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県士会PRブース：各県士会活動の紹介や情報共有の場にする企画です。</li> <li>・リハビリ相談会：一般来場者の方々に作業療法を知って頂く企画です。</li> <li>・進学相談会：養成校計27校が参加します。全日パンフレット掲示 6月21日のみブースを設けて学生対象の相談会を開催します</li> <li>・認知症オープンフォーラム：認知症者に対するOT・医療福祉従事者の関わり方について相談・自由討論できる場にする企画です。</li> <li>・タイから生中継！海外で活躍する日本の作業療法士(国際協力活動紹介)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース対応ボランティア 県士会PRブース兼リハビリ相談会 16枠募集 認知症オープンフォーラム 8枠募集</li> </ul>
⑥作業所・物産展	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川の作業所を中心とした活動紹介を行います。</li> <li>・作業所に従事する作業療法士の活動紹介を行います。</li> <li>・作業所等で作成した製品の物品販売をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース対応ボランティア 5枠募集 10：30～14：00 4日間×2名</li> </ul>

## 【お願い】

\*ボランティアは大会参加者を原則とします。

\*ボランティアになりますので、交通費や昼食等の支給はありません。あらかじめご了承下さい。

\*英語での説明はパネル等で掲示対応もしますので、英語に自信ない方でも大丈夫ですよ。

(各企画に一般の通訳ボランティアさん常駐予定です)

\*半日単位での募集ですが、一日参加も大歓迎です！

神奈川のOTで大会を盛りあげていきましょう(^ ^)ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

(文責 酒井)

# 神奈川県リハビリテーション地域リーダー研修会 2013

日 時：平成25年12月8日（日）  
 会 場：横浜リハビリテーション専門学校  
 共 催：一般社団法人神奈川県作業療法士協会  
 公益社団法人神奈川県理学療法士協会  
 神奈川県言語聴覚士会

## プログラム

- ①地域包括ケアシステムについて
- ②訪問リハに関する協会・県士会の動向と今後の展望について
- ③グループワーク「問題解決方法論」～講義・実践～

## 内容

神奈川県内において訪問リハに従事するセラピスト数の増加が期待されておりますが、従事者数の増加に伴い問題となるのがサービスの質の確保です。その課題に対応するため、2010年度から神奈川県作業療法士会、神奈川県理学療法士会、神奈川県言語聴覚士が協力して「訪問リハビリテーション実務者研修会」を開催しております。

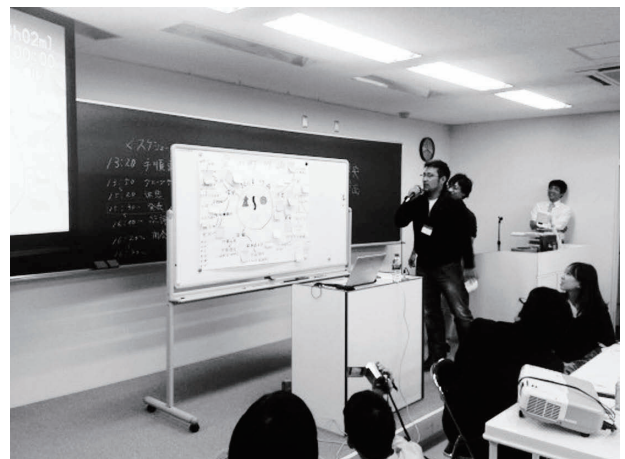
しかしながら、年に1回の研修会だけでセラピストの質を向上することはできません。今後は更に各地域における育成システムが重要であると捉えており、そのためには各地域の課題を明確にして解決する必要があります。

また質の向上のみならず、サービスの量についても神奈川県内の訪問リハ提供数は人口比では全国的に少ない状況です。

本研修会では参加者を概ね2次医療圏域ごとグループとして、「日本一の質・量・満足度」を目指すために各地域の課題を明確化し、課題解決のための具体的な工程表を作成していただきました。

課題として「移動時間が長い」「地形の問題（坂や道幅が狭いなど）」など地域特有な問題から、すべてのグループから共通して発表された「人材不足・育成」「研修の充実化」「同職種・他職種・他事業所・病院との連携が少ない」「知名度が低い」などが挙げられました。

その課題への取り組みとして「訪問リハの所在などがわかるリハマップの作成」「各地域にある連絡会などの活用・参加」「交流会を開催」など“連携



の強化”の対策が重要視されてきました。

今回の研修はここで終わりではなく、この問題解決を各地域で実際に行っていくことが本来の目的であり、県士会（2014年4月1日からは神奈川県訪問リハビリテーション協議会に移行）で各グループのリーダーに進捗状況を確認していきます。

参加したメンバーだけでなく、本当の意味で地域連携を図りながら、さまざまな方にご援助いただき、「神奈川県訪問リハ日本一」目指していききたいと思います。

訪問リハに興味がある会員諸氏におかれましては、来年度以降も訪問リハ関連の研修会への参加をご検討いただけますようよろしくお願いいたします。

（文責：地域リハビリテーション部 坂内）

## 「今こそ学びたい 作業療法士のための物理療法の基礎」を終えて

平成26年2月1日（土）に「今こそ学びたい 作業療法士のための物理療法の基礎」が行われました。この講習会を企画していた段階では「作業療法士は養成校で物理療法について学ぶ機会が少ないため、苦手意識があり参加者は少ないのではないか」という意見もあり、少々チャレンジのような試みでもありました。しかし、蓋をあけると87名とたくさんの方に参加して頂けました。電流刺激による促通法や中枢神経麻痺のアプローチについては各学会での発表も増えてきており、作業療法士も物理療法に興味を持ち、知りたい、治療手段として使用したいという気持ちがあることが伺えました。

内容としては、伊東超短波（株）と酒井医療（株）のご協力の元、物理療法の基礎や電流刺激について講義や、体験コーナーにて低周波やテストバッテリーの紹介・操作体験をしました。物理療法については、適応・禁忌事項の確認や痛みの種類による刺激

条件を学習でき、基本的な知識の確認ができました。また、応用として治療の効率を高めるコンビネーション治療の紹介もありました。体験コーナーでは「トリオ300」という低周波治療器の操作体験を行ったことで、今まで敬遠しがちであった物理療法を身近に感じる事ができたのではないかと思います。また、新横浜リハビリテーション病院の林先生、新戸塚病院の片岡先生より、実際に物理療法を治療として取り入れた症例報告がありました。私自身、物理療法には苦手意識があり、進んで治療手段として使用することは今までありませんでした。しかし今回、物理療法の基礎を学習し操作体験を通して、物理療法により効率よく患者の機能向上につなげられる可能性を感じ、今後試してみようという気持ちになりました。今回の講習会を通して、治療手段の拡大につながればよいと感じました。

文責：横浜旭中央総合病院 里原麻衣子



# 各部からの報告

## 学術部

### ○平成26年度 神奈川作業療法研究

#### 投稿論文募集のお知らせ

1. 発刊頻度 年1回（毎年3月発刊）
2. 募集の内容 研究論文、実践報告、総説、短報など
3. 投稿資格 神奈川県作業療法士正会員（投稿年度までの会費納入済みの方）

4. 査読 1 投稿論文に対し、2名の査読者によって行う
5. 論文執筆支援制度 研究・論文執筆経験の少ない会員の希望により、テーマの決定から投稿に至るまでの一部または一連の過程に対して、助言・指導を行う。（制度利用年度までの会費納入済みの方）  
その他ウェブサイトを参照のこと

相談先：神奈川県立保健福祉大学 友利幸之介  
tomori-k@kuhs.ac.jp

## ウェブサイト管理委員会

### ○だけじゃない！

よこ太：県士会サイトって何ページあるのかな？  
ハマ子：あんたどうせヒマなんだから数えたら？  
よこ太：これでも意外と忙しいんだよ〜っと。  
ハマ子：なに？ そのどや顔、なんかむかつく。  
よこ太：今さ、電子ブックに、はまっています。  
ハマ子：だから？  
よこ太：ふふっ読書だよ。進○の巨○、ブ○ック○ャツ○  
○によるしく、キン○○ム、シ○○アの騎○、  
などなど、夜な夜な読みふけているんだー  
ハマ子：なに!? 全部マンガじゃん！  
よこ太：ん？ ハマ子、わかるんだ！  
ハマ子：あっ...（汗）そうじゃなくて、今は県士会サイトの話でしょ！  
よこ太：そうそう、最近、研修会のページと求人ページしか見ていないんだよな。  
ハマ子：それってもったいないよ。他にも内容いっぱいあるじゃん。週に1回でも夜な夜な県士会サイトを探検してみれば？

よこ太：県士会サイトも電子ブックになれば良いのになー  
ハマ子：それiPadとかでウェブ見るのと同じだよ...さて、  
県士会サイトは研修会と求人情報だけではありません！多種多様なコンテンツがそろっています。  
下部のパネル型リンクから探検できますよ。  
明日の臨床へのヒントが見つかるかも！  
（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

#### 平成26年3月 アクセスランキング

- 1位 講習会・研修会 19826件
- 2位 作業療法Tips & PDF 15848件
- 3位 求人情報掲載板 10716件
- 4位 必見！OTのすごい技・アイデア集 9971件
- 5位 月刊よっしーワールド 4007件

#### 平成26年3月 県士会プログラムランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 409件
- 2位 KAOT：社会保障対策委員会 279件
- 3位 Hideki Tanaka's Blog 222件

更新件数：50件 訪問者延べ数：18207人  
Kanaからの手紙発行回数：22回 登録者：175名  
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー247名

## 地域リハビリテーション部

### 《今年度の研修会開催予定》

「生活行為向上マネジメント講習会」  
7/16、9/17、11/19 19:00~20:30  
於：横浜YMCA学院専門学校  
「OT・PSW合同研修会（仮）」 9/20  
於：ウィリング上大岡  
「ALSコミュニケーション支援講習会」  
日時・会場：未定

※今年度より訪問リハビリテーションに関する研修会等は全て神奈川県訪問リハビリテーション協議会が企画・運営いたします。開催情報は別途会員の皆様に周知いたします。

### 《生活行為向上マネジメントの普及活動について》

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・

事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。  
（現在実施施設は2施設です）

宛先：chiikireha@kana-ot.jp  
地域リハビリテーション部 木村宛  
件名：「生活行為向上マネジメント説明会希望」  
内容：1) 所属施設名  
2) 所属施設住所  
3) OT部門代表者  
4) 窓口担当者  
5) 連絡先TEL  
6) 連絡先Email  
7) 所属OTの人数  
8) 希望日時（複数指定）

（文責：地域リハビリテーション部 木村）



## 広報部

### ①相模原市民さくら祭り（平成26年4月6・7日）

第41回相模原市民桜まつりに県士会広報ブースを出展しました。

ブースでは県士会パンフレットの配布や自助具の“ボタンエイド”作製体験を通して作業療法の職業紹介をするとともに、国際学会が今年横浜で開催されることも宣伝しました。“ボタンエイド”は持ち手の部分を『おゆまる』という素材で自由に作製することができて年齢問わず大人気。用意していた材料100個が無くなるほどの大盛況でした。

遊び感覚で作業をする者同士で互いに言葉を交わし楽しんで作業に取り組む姿は、作業療法を広報する上で重要なことだと感じました。また、関連職種である看護師や介護職の方からも「作業療法士ってこんな事をするのね」「理学療法とは違うのね」との反響もいただき、身近な方から私達OTの役割を知ってもらうことも大切だと改めて感じました。

これからも県央地区でも、作業療法への関心を高めていただけるよう、私たちも楽しんで広報活動ができたいと思います。

文責：天野



### ②ラジオ日本「すこやか介護」のコーナーに出演（平成26年3月27日）

峰竜太さん出演の「峰竜太のミネスタ」番組に定期出演しました。テーマは「福祉用具」についてです。ベッドや車いすの選定について・使用上のポイント・そして身体



にあった福祉用具の選定は、作業療法士などリハビリテーションの役割は重要、などと約10分間に亘りDJ峰さん・半田さんとお話しをさせていただきました。生放送はとても緊張！手に汗握りましたが充実した放送内容となりました。また、お知らせコーナーでは国際学会・OTフォーラムの告知も行いました。

約3年間にわたり定期出演した番組ですが、今回で「すこやか介護」のコーナーが最終回となりました。作業療法士が広く知って頂くツールとして今後もメディア媒体を検討していきたいと思っております。今後の活動報告もお楽しみに！

文責：酒井

対外広報班では一般県民・関連職種・学生に向けた様々な対外広報活動を検討・実施しています。ご興味ある方、一緒に活動してみませんか？ ご協力お待ちしております（^^）

## 福利部

### ○職場見学会 身体障害領域編

3月1日（土）に『新人教育』に対して積極的に取り組まれている鶴巻温泉病院にて職場見学会を実施させて頂きました。当日は10名の方に参加して頂き、講師の木村先生よりスライド・経験談を交え分かりやすく講義して頂きました。200名を超えるリハビリスタッフを抱える中で新人教育の要点、工夫している点や難しさを教えて頂きながら、時代時代に応じた教育体制の変遷は実に理論的であり組織的であり興味深い事ばかりでした。参加者は10名であった事もありアットホームな雰囲気



(講義場面①)

中、多くの質問が飛び交い、組織の大小に関わらず皆が同じような悩みを抱えている事を共有しあう事ができました。講義の後は、病院内の見学をさせて頂きました。参加者の中には病院連携をしている方も多数参加されており『新人教育』以外にも『病院連携』について話し合える事もできました。

2014年度も企画は継続していきます。さらなる魅力のある企画にしていきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております！また2013年度の活動報告は、過去の県士会ニュース、WEBサイトに掲載しておりますので、初めて知った方はぜひそちらもご覧ください。



(病院外観)

## 教育部

### ○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

### 「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今年度最初の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」です。

今春作業療法士国家試験に合格、就職された方、おめでとうございます。迎えた側の方も業務拡大や充実に向けて新たに動き始めたところではないかと思えます。

さて、このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。教育部の情報、特に生涯教育制度関連の研修会開催情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されますので、しっかりアンテナを張っておいてください。

今号では、今年度開催予定の生涯教育制度関連の研修会をご案内いたします。

1. **現職者共通研修**：生涯教育制度の必須基礎研修、毎年全10テーマ開催

2. **現職者選択研修**：領域別（身体・老年期・精神・発達）の各障害領域の生涯教育制度必須基礎研修で、毎年2領域開催、今年度は身体障害、老年期障害の2領域を予定

\* 神奈川県士会では、一年間で2つの必須基礎研修が修了できるよう企画、開催しています。

\* 7月号以降の県士会ニュースにて開催情報を順次ご案内します。

3. **事例報告登録制度研修会**：事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。OT協会学術部のご協力により開催予定

その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会にて随時受付中です。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士の申請はOT協会です。ご不明の点をご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）

045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

## 研 修 会 案 内

### ㊦ 日本ケアレク研修大会2014（横浜会場）

主催：日本通所ケア研究会

日時：2014年5月18日（日）10：00～17：00

場所：ウィリング横浜（神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1）

内容：半田育子氏（びわこ臨床美術研究会アトリエパンダ/臨床美術士）  
高橋紀子氏（有限会社ルナ・イ・ソル/福祉レクワーカー）

小笠原資子氏（株式会社Join US/健康運動指導士/介護予防運動指導員）

黒澤優子氏（多機能リハビリセンターありがとう/介護福祉士）

参加費：11,000円（税・資料代込み）※WEB申し込みは1,000円割引

申し込み方法：[http://www.tsuusho.com/care\\_rec/](http://www.tsuusho.com/care_rec/)

申し込み締切：2014年5月17日（土）

担当：小川 真弘

申込み締切：5/20

### ㊦ 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会

主催：才藤栄一（藤田保健衛生大学）

日時：2014年6月5日（木）～7日（土）

場所：名古屋国際会議場

内容：6日（金）：チームDay、7日（土）：市民/学生/研修医Day。チームDayでは、特別企画としてコメディカルポスターセッションを学術集会と同時開催いたします。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、義肢装具士、ソーシャルワーカー、医師等のリハビリテーション医療専門家から演題を募集しました。

申し込み方法：<http://www.congre.co.jp/jarm51/>

問い合わせ：主催事務局：藤田保健衛生大学医学部  
リハビリテーション医学I講座内

### ㊦ スウェーデンの作業療法士 ～特別講演会～

主催：湘南OT交流会

日時：H26年5月25日（日）10：30～15：30

場所：藤沢市労働会館 1階ホール（藤沢駅徒歩10分）

内容：著書「スウェーデンの作業療法士」の河本先生の特別講演会です。

参加費：3000円

申し込み方法：下記より専用フォームからお申し込みください。

[http://1st.geocities.jp/shounan\\_ot/sweeeden.htm](http://1st.geocities.jp/shounan_ot/sweeeden.htm)

### ㊦ 三浦半島作業療法研究会 2014年度 年間スケジュール

主催：三浦半島作業療法研究会

日時：2014年5月23日、8月23日、11月7日、2015年2月28日

場所：神奈川県立保健福祉大学

申し込み方法：研究会ごとに県士会Hpに申し込み方法を掲載。事前申し込みが必要な場合は、専用申し込みサイトから申し込み。

問い合わせ：神奈川県立保健福祉大学 白濱勲二  
E-mail: shirahama-k (あ→@) kuhs.ac.jp



求人

## ～在宅に興味のある作業療法士さん～

在宅介護を中心に31年の実績があるセントケア。介護会社ならではの、介護と医療の連携でお客様の在宅生活をサポートしています。在宅に興味のあるOTさん募集中です！！

- 事業内容** 訪問看護 訪問介護 訪問入浴 デイサービス グループホーム 住宅リフォーム 等  
☆☆☆在宅介護を中心に神奈川県内に67事業所を展開しています☆☆☆
- 募集人員** 正社員 契約社員（非常勤） ※各ステーションで随時募集をしております。
- 待遇** 当社規定による。正社員は賞与年2回・退職金制度あり
- 福利厚生** 社会保険完備 交通費全額支給 各種研修制度 制服貸与 財形貯蓄 有給休暇  
育児休暇 介護休暇 育児短時間労働制度 社員持株会制度 慶弔見舞金 健康相談 等
- 勤務時間** 9：00～18：00（非常勤は応相談）
- 休日** 月8日～10日（基本土日休み）、有給休暇、特別休暇等 ※非常勤の方は勤務希望に応じます。
- 勤務地**
- 訪問看護ステーション横須賀  
横須賀市汐入町2-3-8（京浜急行線 汐入駅 徒歩1分）
  - 訪問看護ステーション大和  
大和市つきみ野2-7-18（東急田園都市線 つきみ野駅 徒歩15分）
  - 訪問看護ステーション川崎宮前  
川崎市宮前区馬絹1451（東急田園都市線 宮崎台駅 徒歩12分）
  - 訪問看護ステーション横浜  
横浜市南区永田東1-1-7（京浜急行線 井土ヶ谷駅 徒歩3分）
  - 訪問看護ステーション サテライト中原 ※平成26年4月オープン  
川崎市中原区上小田中1-28-3（JR南武線 武蔵新城駅 徒歩8分）
- 応募方法** 下記よりお問い合わせください。会社説明会も随時行っています♪

### セントケア神奈川株式会社

本社：〒231-0011 横浜市中区太田町4-55 横浜馬車道ビル7階 採用担当：碓井伸也 神田玲子  
電話：045-227-8871 FAX 045-227-8873 HP <http://www.saintc-k.com> メール [saiyo-k@saint-care.com](mailto:saiyo-k@saint-care.com)



求人

## 作業療法士 大募集！

当施設は職種の枠組みを越えて、利用者様の毎日を作るお手伝いをしています。地域リハに興味がある方、是非、私達と一緒に働きませんか。

- 施設概要** 老健（入所150名/通所リハ40名）  
併設訪問看護ステーションより訪問リハあり
- 募集人員** 常勤2名（OTあるいはPT）
- 待遇** 当法人規定により優遇。経験年数加算。  
昇給年1回 賞与年2回
- 勤務時間** 8：30～17：30
- 休日** 4週8休（年間111日）  
有給休暇、夏季・冬季休暇等
- その他** 学会・研修会補助制度あり（3万/1回）  
リハスタッフ合同の定期的勉強会あり  
現スタッフは、PT：6名（産休1名）  
OT：2名、ST：2名、DH：1名
- 交通** JR 横浜線 鴨居駅からバス  
西菅田団地下車 徒歩8分
- 応募方法** 随時電話連絡の上、履歴書郵送願います。  
施設見学は随時対応しております。
- 担当者** リハビリテーション部長 門田義弘

医療法人社団 廣風会

### 介護老人保健施設 ラ・クラルテ

〒221-0864 神奈川県横浜市神奈川区菅田町656-1  
TEL：045-478-3777 FAX：045-478-3778  
URL：<http://www.hc-mugi.com/>  
Eメール：[rehabili@hc-mugi.com](mailto:rehabili@hc-mugi.com)



## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 学術部

### 平成26年度 研究助成事業 研究課題募集のお知らせ

1. 応募資格者 神奈川県作業療法士正会員（応募年度までの会費納入済みの方）
2. 研究組織 3法人以上の神奈川県作業療法士正会員を含む研究者で構成交付決定
3. 研究期間 平成26年10月中～平成28年3月31日（約18カ月間）
4. 公募期間 平成26年5月1日～平成26年7月31日
5. 課題採択の可否 平成26年8月末日までに事前評価委員会にて決定
6. 応募・投稿義務 ①神奈川県作業療法学会または日本作業療法学会への応募  
②「神奈川作業療法研究」または「作業療法」への投稿
7. 研究計画書書式 神奈川県作業療法士会ウェブサイトよりダウンロードして使用することその他ウェブサイト参照
8. 助成金 研究課題1件に対し最大20万円助成

※「研究」となると、敷居が高く感じられるかもしれませんが、まずはチャレンジしてみようといったものでも相談に乗れます。また各SIGでも活用していただき、SIGのアピールやSIG会員間の絆に繋がられると思います。

相談先：衣笠病院 安部剛央 slash-take0827@tbz.t-com.ne.jp

## 編集後記

平成26年度がスタートしました。新たな一年の始まりで個人的な今年の目標と所属している場所での目標とを考え達成できているよう計画的に進めていきたいですね！

WFOTまでであともう少しです！日本の作業療法は協会の定義改定を目指し、進化している。世界の作業療法を感じられる場で様々な事を吸収して、自身の成長に繋がりたいですね！

山岡 洸

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニューズ** <167号> 2014年5月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

山岡洸／岩瀬このみ／桜井大和（佐藤病院）

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX：045-663-5997

月火水木金 10：00～16：00 メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索



kana-ot.jp